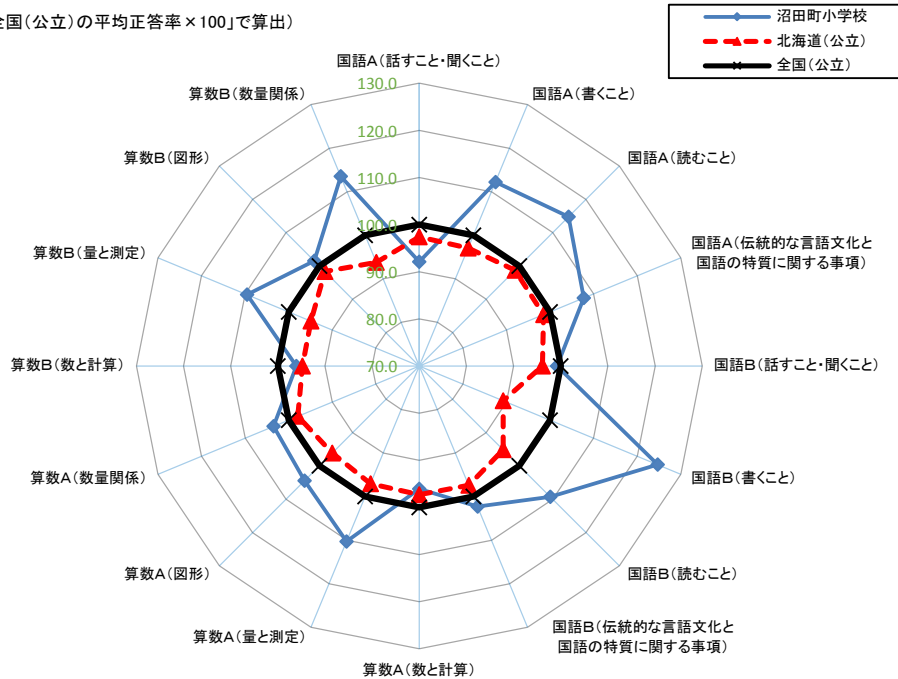


■沼田町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、児童数:21名)

【教科全体の状況】

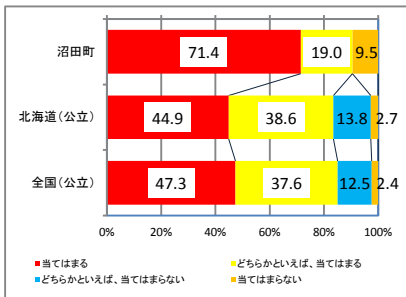
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを(「市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)



【児童質問紙調査】

(「町全体の児童の割合÷全国(公立)の児童の割合×100」で算出)

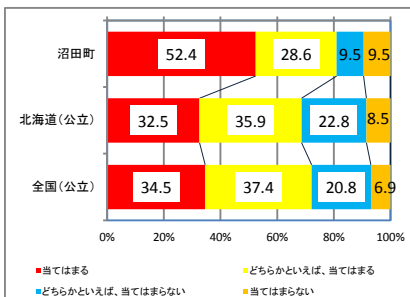
学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



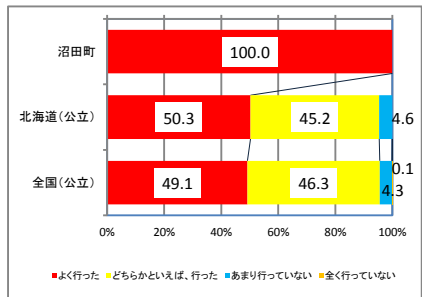
【学校質問紙調査】

(「町全体の学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出)

授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。



学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか。



【分析】

教科	○ 国語A・Bの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数A・Bの「量と測定」「図形」「数量関係」で、全国平均を上回っている。	○ 「学級やグループで話し合う活動」、「伝え合う学習の工夫」、「電子黒板の導入」等を行った結果、基礎学力や伝え合う学習の基盤となる学習態度が身に付き、国語A・Bの「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、算数A・Bの「量と測定」「図形」「数量関係」で、全国平均を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。」「学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」という質問に対して「当てはまる」と回答した児童の割合が全国及び全道平均を上回っている。	
学校質問紙	○ 前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などでよく行うとともに、校内研究において「伝え合う学習の工夫」を研究の主題とし、基礎・基本の定着を図り、思考力・判断力・表現力の育成に努めた。	

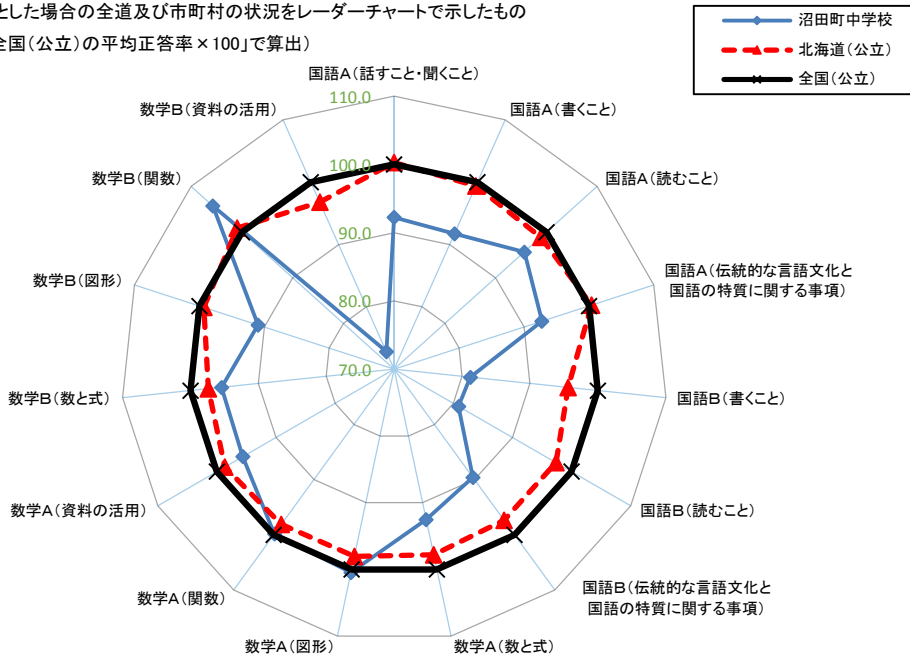
【沼田町の学力向上策】

- ◎ 幼小中一貫教育を推進するため、教職員が一同に会する体制づくり
 - ①年7回の全体研修及び道教委講師招聘 ②合同授業、乗り入れ授業、体験登校の実施 ③教育委員会によるバックアップ体制の整備
- ◎ 電子黒板や実物投影機、タブレットPCの導入及び活用による授業改善
- ◎ 学習サポート事業「明日萌」(週1回)、長期休業学習サポート事業「夏季・冬季明日萌」(各5回)の実施
- ◎ 「家庭学習ハンドブック」の活用、英語指導(姉妹都市カナダのポートハーディーへの中学生の派遣)、沼田町一貫・連携教育推進協議会「家庭地域部会」による生活習慣改善の取組

■沼田町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:27名)

【教科全体の状況】

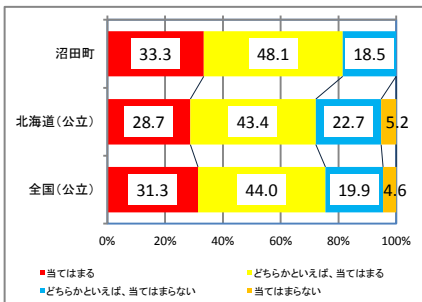
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを
 (「市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100」で算出)



【生徒質問紙調査】

(「町全体の生徒の割合÷全国(公立)の生徒の割合×100」で算出)

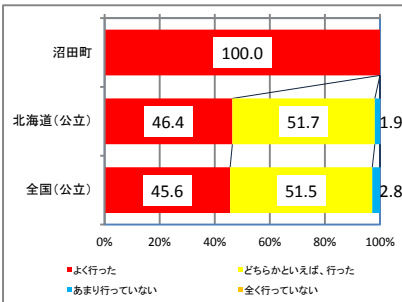
生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。



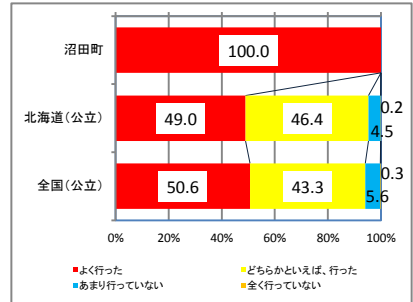
【学校質問紙調査】

(「町全体の学校の割合÷全国(公立)の学校の割合×100」で算出)

学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をしましたか。



数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導しましたか。



【分析】

教科	○ 数学Aの「図形」、数学Bの「関数」で、全国平均を上回っている。	○ 「学習方法に関する指導」や「数学で、家庭学習の課題についての評価・指導」をよく行った結果、学習意欲が高まり、数学Aの「図形」、数学Bの「関数」で、全国平均を上回ったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「1、2年生のときに受けた授業では、生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して「当てはまる」と回答した生徒の割合が全国及び全道平均を上回っている。	
学校質問紙	○ 学習方法(適切にノートをとる、テストの間違いを振り返って学習するなど)に関する指導をするとともに、数学の指導として、生徒に与えた家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導に取り組んだ。	

【沼田町の学力向上策】

- ◎ 幼小中一貫教育を推進するため、教職員が一同に会する体制づくり
 - ①年7回の全体研修及び道教委講師招聘 ②合同授業、乗り入れ授業、体験登校の実施 ③教育委員会によるバックアップ体制の整備
- ◎ 電子黒板や実物投影機、タブレットPCの導入及び活用による授業改善
- ◎ 学習サポート事業「明日萌」(週1回)、長期休業学習サポート事業「夏季・冬季明日萌」(各5回)の実施
- ◎ 「家庭学習ハンドブック」の活用、英語指導(姉妹都市カナダのポートハーディーへの中学生の派遣)、沼田町一貫・連携教育推進協議会「家庭地域部会」による生活習慣改善の取組